

## 三頭山 山行報告

- (山域) 奥多摩  
(コース) 牛飼尾根経由 三頭山 大茅尾根下降  
(登山方法) ヤブ山登山  
(日時・天候) 平成28年2月21日(日) 晴れ  
(参加者) C L 柘植秀樹 S L 橋本丈夫 鈴木憲二 小俣順子 菅井修 加藤洋子  
石橋きよみ 杉山喜代枝 薄井まどか 鈴木愛子(記録)  
(山行タイム) 千葉 5:45⇒中央道上野原 IC⇒長作公園(駐車) 8:30 登山開始→牛飼尾根経由  
→10:40 稜線の一般登山道合地点→10:50 三頭山西峰 11:15 発→避難小屋→大沢山  
12:05 ここから大茅尾根を下る。→集落 牛飼着 13:45(登山終了)



### (山行報告)

朝千葉を 5:45 頃出発し、上野原 IC を出た所のセブンイレブンで柘植車と鈴木車が落ち合う。長作公園までの林道の景色が、周りの山々に雲、霧がたちこめ、菅井さん曰く「墨絵のようで、綺麗だなあ」と。本当にとっても素敵でした。ラジオ体操をして 8:30 いざ出発。



その頃は雲、霧もきれて晴れ、気持ち良く歩き始める。県道の橋を渡り、すぐ右折し、数十メートル普通の道を歩く。また小さな橋を渡り、右側の牛飼尾根に取り付く。急な登りの、何となく人が歩いた様な薄い踏み後をたどり、尾根に上がる。上がりきった後は、ヤブ山山行の様ではなく、歩きやすい普通の登山道の様であった。柘植さん曰く「そのうち、昭文社の地図に破線コースとして出るかも？」と。最初は常緑樹と広葉樹が混ざっている中を歩き、そのうち広葉樹だけの森となり、太陽の暖かい光をあびて気持ち良く歩く。それから何度かアップダウンを繰り返し、1,400m位の地点で休憩をした時、木々の間から富士山・滝子山・三つ峠・大菩薩連峰等々が見え、元気をもらえた。あと100mちょっとで稜線に出る、頂上は近い、頑張ろうと歩を進める。



<雑木の牛飼尾根を軽快に登る>



<鶴峠からの登山道に出たところ>

稜線に出ると、今まで全然雪がなかったのに、北側の斜面が見え、雪が所々ついていて、稜線に出た所から頂上の西峰までは普通の登山道で所々少し雪があったが、アイゼンを使う様な状態ではなかった。三頭山の西峰到着 10:50。牛飼尾根では誰にも会わなかったが、登山者が沢山いた。標識の周りは、ちょっとした広場であったが、昨夜の雨の為か、デレデレ、田んぼの様な状態であった。西峰は展望が良く、富士山が大きくそびえ、その周りに 御正体山、三つ峠、滝子山等々が見えて綺麗であった。昼食を終え、柘植リーダーが皆に中央峰～東峰に行きたいか問うと、皆「あまり展望が良くない様だし、行きたくない」の声。で、行かない事に決定。



<三頭山の山頂記念写真>



<三頭山の避難小屋前を通過>

11:15、大沢山に向けて出発。大沢山までは一般道を歩く。大沢山からヤブコースの急な大茅尾根を下る。地面は落ち葉が沢山あり、柔らかく、背丈の低い木はなく、ヤブをこぐような状態ではなくて歩きやすかった。954mの地点で、右へ曲がり、直接牛飼集落へ降りた。



<大茅尾根はバリエーションばくて面白い>



<元気に下る>



<軽快に下る>



<最後は伐採地を突破して林道へ>

最初の予定では、もっと下ってから右へ曲がり、道路におり、牛飼集落の方、その先の長作公園の駐車場に戻る予定であったが、少し、ショートカットをした。大茅尾根の下りも終わりに近い、800m位の所からだったか、葉の落ちた笹や背丈の低い木の薄いヤブの様な所を少し歩いた。夫曰く、「あれは、ヤブのうちに入らない」との事であった。

牛飼集落へ降りた所で、柘植さんと鈴木が車を取りに行ってくれた。他の人は車が来るまでの間、そこに湧水とバケツ・たわしまであり、それを借りてストックの汚れを落とす事ができた。そして14:00、牛飼集落を後に帰途に就く。16:00 帰葉。

### 【今回の山行を終えて】

ずっとトップを橋本S Lが、次に柘植C Lが歩き、次に杉山さん、次に私が歩いた。ある地点から、橋本さんが、杉山さんに、「ルートファインディングの勉強になるから、トップを歩いてみる？」と声をかけ、杉山さんがトップを歩いた時があった。杉山さんはペースが速かった。必死について行こうと頑張ったが、すぐ後ろを歩くことはできず、少し間があいてしまった。杉山さんは強いなぁと思った。私が杉山さんと同じ年を迎える時、あのように元気に歩けるであろうか…？杉山さんはきっとトレーニングを頑張っているのだなと思った。私の憧れ、星である。杉山さんと同じ年に、あの様に元気に山歩きが出来る自分でいたい。杉山さんの歩きを見て、トレーニングを頑張ろうと思った山行であった。天候と良きメンバーに恵まれ、暖かい太陽の光を浴び、頂上では展望も良く、楽しい山行でした。ご一緒した皆さん、ありがとうございました。